

JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)～(8)は必ず記入してください。(9)～(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1) 担当支部	北海道支部	(2) 記載者氏名	池 昇一	会員番号	13234	事務局整理記入欄	北海道 - 172
分水嶺区分	H044 628.9～H047 828.1～林道出合	(3) 山行日	2005年 4月 19・20日	(4) 天候	晴・積雪1m		

(5) 参加者氏名および会員番号

サポート要員氏名および会員番号

富樫正悟	ナシ	CL		掛水孝幸	13214		
鈴木邦輝	ナシ	SL		富樫くみ子	ナシ		
国沢悟	ナシ	ナビ係					
計				計			
3名				2名			

(6) 山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略:	幌内越峠先の628.9ピークから天北峠手前林道との出会いまで(途中山中泊)												
アプローチ:	幌内越峠からスノーモービルにてスタート地点へ												
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)～(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点													1日目
分水嶺到達点H044	628.9	幌内越峠	142	43	16.28	44	27	38.45	不明	-	5:39	B-4	
H045	770.6	毛鐘尻山	142	46	14.28	44	27	51.04	770	8:46	8:46	B-4	
H046	最高点920	毛鐘尻山	142	48	42.22	44	27	22.14	926	10:53	10:53	B-4	
	765ピーク	毛鐘尻山	142	50	28.44	44	25	29.88	773	14:06	7:01	B-4	2日目
H047	828.1	奥興部	142	49	46.35	44	24	9.35	828	8:59	8:59	B-4	
分水嶺離別点	林道出合	奥興部	142	49	27.54	44	21	48.46	381	11:31	11:31	B-4	
歩行終了点	淡水魚センター	奥興部	142	50	43.71	44	20	51.22	233	12:34		A-1	
総歩行時間(休憩時間を除く):												14時間17分	

(7) 三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを記入してください	点名	等級	方位	保存 状況	特記事項
H045	三角点770.6	3		良好	三角点の部分だけ雪から露出していた
H047	三角点828.1				雪の下で不明

(8) 人工施設の現況および地形図との相違点

なし

(9) 水および植生に関連した特記事項

不明

(10) その他の特記事項

<p>以前に踏査済みの幌内越峠から三角点628.9と林道出合から天北峠を除く、間の部分にチャレンジしました。前回踏査済み以降のコースへ効率よく進むためにスノーモービルのヘルプを受ける。ナビゲーションの不調により正確なデータは途中までできません。天候に恵まれてはいるものの山中泊を予定しての100 ザックでの山スキーは心身ともに消耗が激しいかったです。途中679mピークから三角点770.6へ向かう途中、我々が進むべき分水嶺に熊の足跡(1日前につけられたものと推測される)が続いているではありませんか。足跡の幅から多分2m～2.5mほどの親熊です。熊も分水嶺踏査をやっているのかとなぜか感心する。熊はナビを持っているかのように正確に歩いていました。1日目は14:06稜線上にテント場作成し宿泊、翌日は朝6:36スタートしました。疲労のせいで18:00から翌朝5:00までぐっすり眠る。2日目のコースでは、急斜面の下りが多く、もし逆ルートで進んでいたとしたらかなりの難コースであったらと思います。</p> <p>コース上に人工物なし。最高峰の毛鐘尻山は分水嶺からはずれているので横を通っただけ、行けずに残念。サポートとの連絡が一時とれなくなったものの、翌日には連絡再開し最終505mピークで迎えを受けました。</p>
--

(11) 写真の添付:(有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明: